

令和元年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況・活動状況報告書

大滝の彩りのある森づくり推進事業 (H27)
カエデの植栽イベント事業 (H29,30)
未来につなぐ針広混交林の森づくり (R1)

団体名:大滝山林振興協議会



事業の目的・内容

秩父の森も、国立公園内など原生林の姿を残しつつも、半分近くはスギやヒノキを中心とする人工林単一な植生に作り替えられています。用材に適した樹齢に育ってきたそれらを間伐した後に、広葉樹の苗を植え、これまで育ててきたスギやヒノキの人工林も大切にしながら、少しずつ生物多様性をそなえた本来の豊かな混交林を取り戻す活動を、山で材を生産する人と、山から出た木材を利用する人たちがつながって一体となった取り組みです。



今までの活動状況

令和元年11月16日、気持ちの良い秋晴れの日、住宅メーカーの伊佐ホームズのスタッフ及びお客様とお子様、大滝山林振興協議会スタッフ、NPO 秩父百年の森スタッフでイタヤカエデ等広葉樹の苗の植樹をおこないました。今年は木工工房「ヨロズ国産木材」を営む高橋氏にも協力をして頂き、午後には製材体験も行いました。木を植えることから、利用することまで体験することができ、参加者の森や木材に対する意識がいっそう深まったのではないかと思います。





これからの活動・行事

下草刈り等の保育